

## ■ 調査票・単純集計結果

---

# 大学における障害者スポーツの現状に関する調査

2012年11月

ご担当者様

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

「大学における障害者スポーツの現状に関する調査」ご協力をお願い

秋冷の候、貴大学にはますますご発展のことと存じます。

さて、このたび当財団では、大学、特に体育学、スポーツ科学、健康科学等の専門学部を持ち、これまでも健常者のアスリートの育成・強化や、そのための指導者養成、及び研究と研究者養成に実績をあげられてきた大学・学部を対象として、障害者アスリートに関してはそうした教育、研究の環境がどのような状況にあるのかを調査・分析することになりました。

つきましては、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。**数値等についてご不明な場合は、学内関係機関にご確認の上、ご回答いただければ幸いです。**なお、本調査結果は統計的に処理して、個々の大学のお名前は出ない形で発表いたします。また貴大学へもまとまった調査結果をお送りいたします。

また、本アンケート調査のご回答につきましては、同封の返信用封筒にて、**2012年11月30日（金）**までにご投函いただけますよう、お願い申し上げます。

調査票の発送・回収・データ入力については、当財団の委託先である株式会社サーベイリサーチセンターが担当しております。**調査の実施について、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。**

## 【調査実施機関・問合せ先】

株式会社サーベイリサーチセンター 〒114-8790 東京都北区田端 1-25-19  
調査事務局 担当：赤塚 TEL：0120-199-665（月～金曜日、9時～17時）

## ※本調査（問1）における用語について

区分	説明
視覚障害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のものまたは視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難なもの
聴覚障害	両耳の聴覚レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によって通常の話声を解することが不可能または著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によって歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能または困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
精神障害	精神疾患（脳・心の機能的障害によって引き起こされる疾患）を有するもの
病弱	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規則を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規則を必要とする程度のもの

## ◆ 記入者のプロフィール

所属・役職		氏名	
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

## I 障害者の在籍状況、障害者への支援について

問1 全学部を対象にしてお伺いします。貴大学で、現在の在籍者及び過去4年間の卒業生における障害者の在籍状況と在籍者数について、障害別にそれぞれお答えください。(○はそれぞれ1つ)

		障害の種類	在籍	在籍なし	把握していない
①在籍者 (平成21~24年 入学)	身体障害	視覚障害	1 ( 名)	2	3
		聴覚障害	1 ( 名)	2	3
		肢体不自由(車椅子使用)	1 ( 名)	2	3
		肢体不自由(義肢使用)	1 ( 名)	2	3
		その他の身体障害	1 ( 名)	2	3
			精神障害	1 ( 名)	2
		病弱	1 ( 名)	2	3
		その他 ( )	1 ( 名)	2	3

		障害の種類	在籍	在籍なし	把握していない
②卒業生 (平成20~23年 卒業)	身体障害	視覚障害	1 ( 名)	2	3
		聴覚障害	1 ( 名)	2	3
		肢体不自由(車椅子使用)	1 ( 名)	2	3
		肢体不自由(義肢使用)	1 ( 名)	2	3
		その他の身体障害	1 ( 名)	2	3
			精神障害	1 ( 名)	2
		病弱	1 ( 名)	2	3
		その他 ( )	1 ( 名)	2	3

問2 貴大学の授業における障害のある学生への支援についてお伺いします。貴大学内において、障害学生支援部署はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問3 貴大学における障害のある学生への支援についてお伺いします。  
また、支援がある場合は、その内容を記入してください。

支援の種類	支援の有無 (○は1つ)	その内容を具体的に記入
1. 講義における支援	1. ある → 2. ない	----- -----
2. 学内の生活環境における支援	1. ある → 2. ない	----- -----
3. その他の支援	1. ある → 2. ない	----- -----

問4 貴大学で、現在の在籍者及び過去4年間の卒業生における障害のあるスポーツ選手の在籍状況についてお伺いします。障害別にそれぞれお答えください。(○はそれぞれ1つ)

障害の種類		在籍	在籍なし	把握していない
①在籍者 (平成21~24年 入学)	身体障害			
	視覚障害	1	2	3
	聴覚障害	1	2	3
	肢体不自由(車椅子使用)	1	2	3
	肢体不自由(義肢使用)	1	2	3
	その他の身体障害	1	2	3
	精神障害	1	2	3
	病弱	1	2	3
	その他( )	1	2	3

障害の種類		在籍	在籍なし	把握していない
②卒業生 (平成20~23年 卒業)	身体障害			
	視覚障害	1	2	3
	聴覚障害	1	2	3
	肢体不自由(車椅子使用)	1	2	3
	肢体不自由(義肢使用)	1	2	3
	その他の身体障害	1	2	3
	精神障害	1	2	3
	病弱	1	2	3
	その他( )	1	2	3



(問4で1つでも「在籍」と回答した大学にお伺いします。)

問4-1 障害のある学生が下記の大会に参加したかについて、参加状況と参加人数をお答えください。(○はそれぞれ1つ)

競技名	参加した	参加していない	わからない
1. パラリンピック	1 ( 名)	2	3
2. デフリンピック	1 ( 名)	2	3
3. 競技別障害者スポーツ国際大会	1 ( 名)	2	3
4. ジャパンパラ競技大会	1 ( 名)	2	3
5. インカレ(予選会を含む)	1 ( 名)	2	3
6. 国体(予選会を含む)	1 ( 名)	2	3
7. 一般の学生競技大会	1 ( 名)	2	3

## Ⅱ 運動施設について

問5 大学の運動施設についてお知らせください。保有する運動施設がある場合は、利用状況、バリアフリー度についてそれぞれお答えください。

	利用状況						バリアフリー度 (○は1つ)		
	学 内 (○は1つ)			学 外 (○は1つ)					
貴大学が保有する施設の番号に○をつけてください。	1. 学生は自由に利用できる	2. 登録制で利用できる	3. 授業や部活動時のみ利用できる	1. 学内団体(者)利用のみ	2. 学外団体(者)利用も可能		1. バリアフリーに全面的に対応している	2. 一部対応している	3. 対応していない
1. 陸上競技場	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
2. 球技用グラウンド	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
3. 体育館メインアリーナ	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
4. 種目別体育館	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
5. プール	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
6. 武道場	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
7. アーチェリー場	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
8. テニスコート	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
9. トレーニング施設	1	2	3	1	2		1	2	3
	4. その他 ( )			3. その他 ( )					
10. 運動施設に付帯する更衣室、シャワールーム	付帯する上記施設の番号(1~9)を記入 ( )						1	2	3
11. 運動施設に付帯するトイレ	付帯する上記施設の番号(1~9)を記入 ( )						1	2	3

問6 貴大学の学生か否かを問わず、問5の質問でたずねた貴大学の施設をこれまで、障害者スポーツのトレーニングのために障害のあるスポーツ選手、団体が使用、または選手、団体に貸し出されたことはありますか、お答えください。(○はそれぞれ1つ)

また、施設の使用貸出の実績があるスポーツ種目を、今後予定ありも含めて、下記主要な障害者スポーツ競技種目の一覧より番号にてお選びのうえ記入してください。

競技施設	現在 (使用/貸出)		過去 (使用/貸出)		今後 (使用/貸出)		競技種目
	1 ある	2 ない	1 あった	2 なかった	1 予定ある	2 予定ない	
1. 陸上競技場	1	2	1	2	1	2	
2. 球技用グラウンド	1	2	1	2	1	2	
3. 体育館メインアリーナ	1	2	1	2	1	2	
4. 種目別体育館	1	2	1	2	1	2	
5. プール	1	2	1	2	1	2	
6. 武道場	1	2	1	2	1	2	
7. アーチェリー場	1	2	1	2	1	2	
8. テニスコート	1	2	1	2	1	2	
9. トレーニング施設	1	2	1	2	1	2	

◆主要な障害者スポーツ競技種目

1. 陸上競技	2. 水泳	3. 車いすテニス	4. ボッチャ	5. 卓球
6. 柔道	7. セーリング	8. パワー リフティング	9. 射撃	10. 自転車
11. アーチェリー	12. 馬術	13. ゴールボール	14. 車いす フェンシング	15. 車いすバス ケットボール
16. 障害者サッカー (視覚/脳性麻痺)	17. ウィルチェアー ラグビー	18. シットイング バレーボール	19. ボート	20. スキー (アルペン/ クロカン / パイロン)
21. アイススレッジ ホッケー	22. 車いすカーリング	23. その他 ( )	24. その他 ( )	

### Ⅲ 入学試験における障害者スポーツ選手への対応について

問7 体育・スポーツに関係する学部・学科コース等を対象にしてお伺いします。問4-1で伺ったスポーツ大会及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）等で活躍した障害のある受験生について、貴学部等ではどのような試験を実施\*するのでしょうか。それぞれお答えください。

\* 差し支えないようでしたら、入試要綱を同封の返送用封筒に調査票と一緒にに入れてご返送いただければ幸いです。お手数ですが、よろしくお願い申し上げます。

試験の種類	実施の有無	個別対応の有無
1. 実技試験	1. ある $\longrightarrow$ 2. ない	1. 個別対応を実施している 2. 個別対応を実施していない
2. 筆記試験	1. ある $\longrightarrow$ 2. ない	1. 個別対応を実施している 2. 個別対応を実施していない
3. 面接試験	1. ある $\longrightarrow$ 2. ない	1. 個別対応を実施している 2. 個別対応を実施していない

問8 問4-1で伺ったスポーツ大会及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）等で活躍した障害のある受験生について、貴学部等では特別推薦制度がありますか。（○は1つ）

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. ある<br>2. ない $\longrightarrow$ (問9へお進みください) |
|-----------------------------------------------|

(問8で「1」と回答した大学にお伺いします。)

▶ 問8-1 過去の特別推薦制度の志願者で、これまでに合格した志願者はいましたか。（○は1つ）

- |                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| 1. いる <span style="margin-left: 200px;">2. いない</span> |
|-------------------------------------------------------|

#### IV アスリートの競技力向上について

問9 アスリートの競技力向上を目的とした研究を行う研究組織（個人研究を含む）が、学（部）内にありますか。（○は1つ）

1. ある  
2. ない → （問10へお進みください）

（問9で「1」と回答した大学にお伺いします。）

▶ 問9-1 その研究組織で、障害のあるスポーツ選手を対象とした研究は行っていますか。（○は1つ）

1. 常に行っている  
2. ときどき行っている  
3. 行っていない } → （問10へお進みください）

（問9-1で「1」と回答した大学にお伺いします。）

▶ 問9-2 差し支えなければ、障害のあるスポーツ選手の競技力向上を目的とした、その研究組織の名称、研究者、研究内容に関する参考情報について（URL など）記入してください。

（研究組織の名称）

（研究者）

（研究内容に関する参考情報：URL、文献等）

（問9で「2」、問9-1で「2」または「3」と回答した大学にお伺いします。）

問10 今後、障害のあるスポーツ選手の競技力向上を目的とした研究を進めていく考えがありますか。（○は1つ）

1. ある  
2. 必要があれば行う  
3. ない

問11 アスリートの競技力向上を目的としたコーチ養成を行う組織・個人が学（部）内にありますか。（○は1つ）

1. ある  
2. ない → （問13へお進みください）

（問11で「1」と回答した大学にお伺いします。）

▶ 問12 アスリートの競技力向上を目的としたコーチ養成を行う組織・個人の中で、障害のあるスポーツ選手を指導するコーチ養成を行っていますか。（○は1つ）

1. 常に行っている  
2. ときどき行っている  
3. 行っていない } → （問13へお進みください）



問13 今後、障害のあるスポーツ選手を指導するコーチ養成を行う可能性がありますか。(○は1つ)

1. ある 2. 条件があえば行う (その条件を具体的に: _____) 3. ない
--------------------------------------------------

問14 パラリンピック等の国際大会やジャパンパラ競技大会等の国内大会に貴大学の教職員を選手、指導者、役員、支援スタッフ等で派遣したことがありますか。(○は1つ)

1. ある 2. ない → (問15へお進みください)
--------------------------------

(問14で「1」と回答した大学にお伺いします。)

問14-1 貴大学の教職員について、どの大会にどのような役職で派遣しましたか。それぞれお答えください。

該当する大会の番号に○をつけてください。	役職 (○はいくつでも)
1. パラリンピック	1. 選手                      2. 指導者                      3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
2. その他国際大会 (具体的に: _____)	1. 選手                      2. 指導者                      3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
3. ジャパンパラ競技大会	1. 選手                      2. 指導者                      3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)
4. その他国内大会 (具体的に: _____)	1. 選手                      2. 指導者                      3. 役員 4. 支援スタッフ (具体的に: _____) 5. その他 (具体的に: _____)

## V 障害者スポーツ選手の競技力向上における大学の役割・意向について

問15 障害のあるスポーツ選手の競技力向上における大学の役割についてお伺いします。以下の16項目における大学の役割の重要度について、それぞれ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	大学の役割 (○は1つ)			
	重要である	やや重要である	重要ではない あまり	まったく重要ではない
1. 大学スポーツ施設の利用	1	2	3	4
2. 大学研究(実験)施設の利用	1	2	3	4
3. 活動に対する人的サポート支援	1	2	3	4
4. 専門の研究者養成	1	2	3	4
5. 専門のコーチ養成	1	2	3	4
6. 障害のあるスポーツ選手(学生として)育成・強化	1	2	3	4
7. 障害者スポーツに関する授業の開設	1	2	3	4
8. 大学連携による支援システム	1	2	3	4
9. 国立または地域の リハビリテーションセンターとの協同	1	2	3	4
10. ナショナルまたは地域の トレーニングセンターとの協同	1	2	3	4
11. 国立または地域の スポーツ科学センターとの協同	1	2	3	4
12. 研究に関する予算的措置	1	2	3	4
13. 教育に関する予算的措置	1	2	3	4
14. 選手育成・強化に関する予算的措置	1	2	3	4
15. 競技大会への教職員の派遣	1	2	3	4
16. その他(具体的に: _____)	1	2	3	4

問16 障害のあるスポーツ選手の競技力向上における貴大学のご意向についてお伺いします。以下の16項目における貴大学のご意向について、それぞれ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	大学の意向 (○は1つ)			
	実施している	条件が整えば実施する	実施は難しい	実施しない
1. 大学スポーツ施設の利用	1	2	3	4
2. 大学研究(実験)施設の利用	1	2	3	4
3. 活動に対する人的サポート支援	1	2	3	4
4. 専門の研究者養成	1	2	3	4
5. 専門のコーチ養成	1	2	3	4
6. 障害のあるスポーツ選手(学生として)育成・強化	1	2	3	4
7. 障害者スポーツに関する授業の開設	1	2	3	4
8. 大学連携による支援システム	1	2	3	4
9. 国立または地域の リハビリテーションセンターとの協同	1	2	3	4
10. ナショナルまたは地域の トレーニングセンターとの協同	1	2	3	4
11. 国立または地域の スポーツ科学センターとの協同	1	2	3	4
12. 研究に関する予算的措置	1	2	3	4
13. 教育に関する予算的措置	1	2	3	4
14. 選手育成・強化に関する予算的措置	1	2	3	4
15. 競技大会への教職員の派遣	1	2	3	4
16. その他(具体的に: _____)	1	2	3	4



※ 1つでも「2. 条件が整えば実施する」に○をつけた大学は、問16-1へお進みください。

問16-1 実施の条件について、それぞれ具体的に記入してください。

項目	条件
1. 大学スポーツ施設の利用	
2. 大学研究（実験）施設の利用	
3. 活動に対する人的サポート支援	
4. 専門の研究者養成	
5. 専門のコーチ養成	
6. 障害のあるスポーツ選手（学生として）育成・強化	
7. 障害者スポーツに関する授業の開設	
8. 大学連携による支援システム	
9. 国立または地域の リハビリテーションセンターとの協同	
10. ナショナルまたは地域の トレーニングセンターとの協同	
11. 国立または地域の スポーツ科学センターとの協同	
12. 研究に関する予算的措置	
13. 教育に関する予算的措置	
14. 選手育成・強化に関する予算的措置	
15. 競技大会への教職員の派遣	
16. その他（具体的に：.....）	

問 17 大学の障害者スポーツにおける現状について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。